

放射線診断科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 多発性肝嚢胞に対する経カテーテル的動脈塞栓療法に関する検討

[研究機関] 北海道大学病院放射線診断科

[研究責任者] 作原 祐介 （放射線診断科・助教）

[研究の目的] 多発性肝嚢胞に対する経カテーテル的動脈塞栓療法の治療効果を調査するため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

多発性肝嚢胞の患者さんで、平成 18 年 10 月 1 日から平成 22 年 8 月 31 日の間に経カテーテル的動脈塞栓の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①年齢、生年月日、病名、合併症の有無、P.S.(ECOG)、既往歴、アレルギー素因または薬剤過敏既往の有無、嚢胞に対する治療歴の有無
- ②血液学的検査： RBC, Hb, Ht, WBC, Plt, PT, PT-%, APTT
- ③血液生化学的検査：総蛋白, アルブミン, 総ビリルビン, AST(GOT), ALT(GPT), LDH, γ -GTP, BUN, クレアチニン, Na, K, Cl, CRP
- ④経カテーテル的動脈塞栓術の内容：塞栓枝、使用した塞栓物質
- ⑤経カテーテル的動脈塞栓術前後の抗生剤投与の有無
- ⑥経カテーテル的動脈塞栓術前・後の推定全肝容積、嚢胞容積、肝実質容積。容積測定に用いた画像データの取得日。
- ⑦経カテーテル的動脈塞栓術前・後の臨床症状の変化
- ⑧経カテーテル的動脈塞栓術前・後の腹囲の変化
- ⑨合併症の有無、有の場合はその対処内容

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院放射線診断科 担当医師 作原 祐介

電話 011-716-1161 FAX 011-716-7876